

香川県三豊市

栗島で海ほたるショー



海ほたるが多く集まる
海岸近くに立った看板

わが町
期待の星

香川県三豊市詫間の須田港から定期船で10分ほど。瀬戸内海に浮かぶ栗島はかつて北前船が寄港し、日本最古の海員学校もあった。船とゆかりの深い島はいま、「日本一海ほたるが優しく光る浜辺」をPRする。

海ほたるは大きさが最大で3ミほどのエビやカニなどと同じ甲殻類。青白い発光は敵への威嚇で、刺激を受けると一層光る。早くから下水処理が進み、特にきれいな島周辺に多く生息する。

こうしたイベントは「栗島イベント実行委員会」が担う。会長の西山恵司さんはル・ポール栗島の元支配人。リピート客のために毎年趣向を変えているという。

5～10月のシーズン中、海ほたるショーを目前に毎年約3500人が来島する。「青い光を見れば日ごろの自分をリセットできる。癒やしの場として多くの人にきてほしい」と西山さんは話

三豊市の宿泊施設「ル・ポール栗島」は宿泊客のリクエストに応えようと取り組む。ハマチなどの魚片を入れたガラス瓶に、小さい穴をあけたふたをして海に沈めると、日没後に動き始める海ほたるが大量に瓶の中に入る。

集めた海ほたるを浜辺にまけば青白い光が一面に広がり、天の川のように。穴をあけた雨どいに海ほたるを海水とともに流し込むと、青い光が闇夜を落下し、ナイアガラ

の滝のようだ。